

2022年3月10日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株式会社三菱UFJ銀行

## インド国内のスタートアップ企業を対象とした投資枠設定について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、インド国内のスタートアップ企業を対象とした総額300百万米ドルの投資枠、通称“MUFG Ganesha Fund”（以下 本投資枠）を設定しました。

当行は、本投資枠を通じて、主にインド国内におけるミドルステージからレイターステージにあるスタートアップ企業に出資いたします。また、将来的には当該企業に対し、MUFGのグループ総合力を活用した広範な金融機能の提供も展望しております。

急速な経済成長が進むインドでは、デジタルネイティブな若年層の台頭、インターネットの急速な普及、デジタル化を後押しする政策などを背景に、デジタル技術や知見を活用したスタートアップ企業が急速に増加しております。また、それらのスタートアップ企業には、これまで金融サービスが必ずしも行き届かなかったアンバンクト層に対して決済・貸出といった金融サービスを提供するフィンテック企業や、環境支援に特化した企業など、テクノロジーを用いて社会課題の解決に取り組む企業が数多く存在します。

当行は、アジアの成長取り込みとデジタルシフトへの対応、および環境・社会課題への貢献を重点戦略と位置付ける中、アジアにおいて、パートナーバンクへの出資によるビジネスプラットフォーム構築や、Mars Growth Capital 社によるスタートアップ企業支援<sup>[1]</sup>などの取り組みを行ってまいりました。今後は、それらの取り組みに加えて、成長著しいインドにおけるスタートアップ企業の成長をファイナンス面で支援することで、新産業の育成および地域社会の持続的な発展に、より一層貢献いたします。また将来的には、投資先企業の持つデジタル技術を活用し、お客さまに提供するサービスの利便性向上も目指してまいります。

<sup>[1]</sup> Mars Growth Capital 社の事業については以下をご参照ください。

[https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2022/pdf/news-20220117-001\\_ja.pdf](https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2022/pdf/news-20220117-001_ja.pdf)

以 上